

2022年8月1日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

#### <概要>

研究課題名	血管カテーテルから閉鎖的に採取された血液を用いた血液培養検査のコンタミネーション率の検討:後視的コホート研究
対 象	2021年1月から2022年6月に当院に入院し血液培養検査を受けた方
研究期間	臨床研究審査委員会承認日から2022年12月までを予定しています。
研究目的	血液培養検査は菌血症を診断するために必要な検査であり、その検査の結果抗生剤の投与期間や患者の予後に影響する重要な検査です。40mlほどの血液を必要としますが、重症患者様においては血液の凝固異常による易出血性や四肢の浮腫などにより40mlの採血が困難な場合があります。また採血に伴う苦痛が生じます。一方、ICUにおいて血管カテーテルからの採血は一般的に行われており、容易に苦痛なく40mlの採血を行うことが可能です。血管カテーテルから閉鎖的に採血した血液を用いた血液培養検査が皮膚から採血した血液を用いた血液培養検査と同等の結果であるかどうかを明らかにすることが今回の研究の目的です。
方 法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、病名、COVID-19の有無、血液培養検査の実施日や結果などの詳細、カルテの記事データ等があります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。
問い合わせ先	兵庫県立尼崎総合医療センター 救急集中治療科 〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77 TEL: 06-6480-7000 FAX: 06-6480-7001 MAIL: tsunemitsu0730@yahoo.co.jp 研究責任者 恒光 健史